

主催：社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
共催：岡山県地域公益活動推進センター（岡山ささえ愛センター）

12/15 (水)
13:00-16:30

令和3年度

生活困窮者自立支援事業 関係機関研修会

参加
無料

「コロナ禍で顕在化した 新しいニーズに対する生活困窮者支援について」

岡山県における社会福祉協議会が行う新型コロナウイルス感染症特例貸付の件数は、延べ約5万6,000件、貸付総額は約210億円を超え（令和3年10月末時点）、コロナ禍での経済状況の影響により、自営業や、シングルマザー、外国人の方々などが抱える生活課題が浮き彫りとなる中、関係機関同士のつながりや、新たな支援の必要性も高まっています。

本研修では、これらの顕在化されたニーズや生活課題について、他の関係機関と共有することの重要性を再確認するとともに、事例を通じて、つながり方の工夫や、今後の生活困窮者支援について考える機会とすることを目的に開催いたします。

△ 日時 令和3年 **12月15日** (水) 13:00-16:30 12:30-受付

△ 会場 きらめきプラザ3階 301会議室 岡山市北区南方2丁目13-1

* 新型コロナウイルスの感染状況等により、急遽オンライン開催に変更する場合がございます。

△ 対象 県内にて生活困窮者の方の支援に携わる関係機関・団体など

・社会福祉協議会、岡山ささえ愛センター会員法人・団体、行政、NPO法人、
・その他 生活困窮者支援に関心のある方（商工会議所、学校・教育関係者、外国人支援、法曹専門職など）

△ お申込 令和3年 **12月6日** (月) まで

➔ 「参加申込書」をご記入の上、メールまたはFAX（添書不要）にて下記あて先までお送りください。

定員
50名

△ プログラム

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う
生活福祉資金貸付制度「緊急小口資金等特例貸付」の
県内の状況について

岡山県社会福祉協議会 福祉支援部生活支援班

(2) 現場からの課題提起 (2団体)

■ 倉敷市生活自立相談支援センターめやす箱

センター長 池田 朋宏 氏

■ NPO法人「神戸の冬を支える会」

理事 髯本 郁 氏

阪神・淡路大震災の支援活動の中で生まれたNPO法人神戸の冬を支える会（野宿生活者支援）NGO神戸外国人救援ネット（外国人支援活動）等の立ち上げに関わり、以降相談・支援活動に従事。現在、「NPO法人神戸の冬を支える会」として、生活困窮者自立支援法における「一時生活支援事業」等を受託し、支援。

・社会福祉士、精神保健福祉士。元神戸市職員

(3) 事例にもとづく参加者同士の意見交換

△ 全体コーディネーター

美作大学 社会福祉学科
准教授 武田 英樹 氏



2002年に路上生活者ふれあいサークルレインボーを立ち上げ、ホームレス支援や生活困窮者支援に取り組む。姫路市社会福祉協議会アドバイザー、姫路市ホームレス自立支援連絡協議会・学術委員、姫路市ホームレス自立支援実施計画懇話会・座長などを歴任。

1994年～東加古川病院精神科、赤穂市民病院集中治療室等にて勤務
2001年～賢明女子学院短期大学などにて、助手、講師、准教授
2013年4月～現職
・社会福祉士、看護師、介護福祉士、介護支援専門員

[お問合せ・申込先] 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部地域支援班（担当：濱田・林）
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館3階
TEL：086-226-2835 FAX：086-225-6602 MAIL：chiiki@fukushiokayama.or.jp